

来た・見た・話した・食べて飲んだ・そして祈った

2018年4月9日～12日、「五島列島日本最古のルルドと迫害の地巡礼の旅」に参加しました。仙台のニコラウス神父様をはじめ、岩手・遠野教会、奈良・大和高田教会、大和郡山教会、兵庫・相生教会、大阪・大東教会の信徒とそのご家族総勢13名の旅でした。思いつくままに印象に残ったことを書き記したいと思います。

まず、特色ある教会の建物とそれを保存する信徒の方々の姿です。福江島では重厚な福江教会、ノアの箱舟をイメージした浦頭教会、キリシタン資料館として活用されている堂崎教会、ファティマの聖母の一隅のある楠原教会、野外の十字架の道行きがある水ノ浦教会、モザイク壁画とステンドグラスが美しい三井楽教会。教会の美しさとかつての弾圧、拷問、殉教が表裏一体となっていることを感じました。これは実際に行かなければわからないことだ、と腑に落ちました。

教会を見学して聖堂で短いお祈りを捧げましたが、とても心が落ち着くひとときでした。美しい教会を建てた方のご苦労もさることながら、庭の手入れも含め古い建物を手入れされているご苦労もしのばれました。そして朝ミサに与った福江教会で侍者を務めた小学生のかわいらしかったこと。お告げのマリア修道会のシスターのお話からも信仰が日常生活の中にあると実感しました。

そして、今回最も印象深かったのが井持浦教会の野外ミサです。あまりに辺鄙なところにあるため迫害の手を逃れたという教会は新緑とうぐいすの声で私たちを迎えてくれました。五島中から集められた岩石でできた洞窟の中のマリア様は日本最古のルルドだそうです。シスター方がてきぱきと準備をされ、野外ミサが始まりました。木々のざわめき、鳥の声、そんな自然の中でのミサは皆を強く一体にしてくれるように感じました。

下五島を離れ、久賀島の牢屋の窄記念館、旧五輪教会、上五島の仲知教会、青砂ヶ浦教会、鯛ノ浦教会、頭ヶ島教会を巡礼しました。狭く曲がりくねった山道、突然開ける海の眺望、バスの中からも美しくも険しい自然が見られました。そしてほんの少しの平坦な地に田んぼや畑が作られていました。大東教会は五島出身の方が多く、ここは〇〇さんの教会、こちらは さんの教会、と思うと親しみが湧きます。牢屋の窄など、あまりに悲惨で知らないほうがよかったのに...と思える場所もありましたが、それを含めての巡礼でしょう。折につけ思い出し、お祈りしたいと感じました。福江教会から始まっているいろいろな教会でごミサをあげていただきました。回を追うごとにミサがまとまってきたと感じました。これも巡礼のお恵みと思います。

大東教会では毎年河内キリシタンを記念して野外ミサなど記念行事をしています。まだ4年目の行事ですが、これからも続けていきたいと改めて思いました。五島の方が守っている祖先の遺産を知ったからです。名前が残っている人、無名のうちに亡くなったたくさんのキリシタンたち。現代の五島の信者の方々を見習い、河内キリシタンを次の世代に伝えていきたいと思います。

最後に、ニコラウス神父様、企画してくださったcom-unity world様、ガイドの中田様、五島の皆様とシスターの皆様へ感謝します。ありがとうございました。

大東教会 中川 奈穂子